



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
11月17日
発行

第157回 「米国の良心 ジェイミー・ダイモン」

～日本株優位はまだまだ続く～

初めに

米国の最大手銀行JPモルガン・チェースのCEO、ジェイミー・ダイモン氏。当レポートでは第1回の『米国の脱「株主第一」主義』でダイモン氏を取り上げていますが、世界のバンカーの中で最も尊敬されている人物だと思っています。私がダイモン氏の存在を知ったのは東日本大震災の時に、外資系金融機関の幹部が次々に日本を離れる中、ダイモン氏は逆に日本を訪れました。元々訪日が予定されていたとはいえ、こういう人がいるんだと胸が熱くなったのを憶えています。そのダイモン氏へのインタビュー記事が11月12日付け日本経済新聞に掲載されています。この記事を確認しながら、米国の経済や金融市場について考えます。

ダイモン氏の警告

この記事によれば、ダイモン氏は今回の金融危機に早くから警告を発していた模様です。ただ、リーマンショックで大きな打撃を受けた商業銀行についてはその後の規制強化が奏功して今回は問題が少ない、と考えているようです。その一方で、規制の少ないシャドウバンキングやフィンテックなどについてはリスクが大きいと考えていたようですが、ここ数日のFTXなどを巡る混乱をみると、まさにダイモン氏の警告が的中したといえます。中央銀行の利上げが遅すぎたという指摘もその通りでしょう。今後については最悪期はまだ終わっていない、とみているようでした。自分もそう思います。

ソロモン氏との比較

今年8月に当レポート第144回で、ゴールドマン・サックスのCEOデービット・ソロモン氏への日経新聞によるインタビュー記事を取り上げたことがあります。その記事で、ソロモン氏は米国は大丈夫だということを喧伝していましたが、資金が苦しくなってきたため無理に強気を装って投資家から資金を引き出そうとしているように自分には思えました。実際その後、米国の投資銀行は資金が苦しくなる一方だったと思います。商売なので強気を装うことも必要でしょうが、それに比べ、悪い所は悪いとはっきり言うダイモン氏には好感が持てます。

日本株優位はまだまだ続く

ダイモン氏が述べるように、今後の米金融市場はかなり大きなバブルの処理を迫られると思います。日本株優位はまだまだ続きそうです。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。